

平成 30 年度予算の編成にあたっての町長特記指示事項

1 『環境創造都市ニセコ』の実現に向けて

- 1) 資源と経済が循環するニセコ
- 2) 人の力が発揮され笑顔が広がる「心温かなニセコ」
- 3) 町民のみなさまとともに、みんなで築く「元気なニセコ」

2 まちづくりのための 10 の目標

- ① 農業所得向上対策の実践による**夢のある農業**
- ② 農業と商工観光が連携し、自律した**循環型経済**の地域
- ③ 水環境を守り、地球環境負荷を低減させる「**環境モデル都市**」
- ④ 教育環境を整備・拡充し、**安心して子育てができる教育**のまち
- ⑤ これまでの社会を創ってこられた**高齢者を大切に**する温かなまち
- ⑥ **医療と福祉の拡充**による安心のまち
- ⑦ 消防・救急体制整備による**災害に強い**まち
- ⑧ お互いを尊重し、**頑張る人を応援する**人の輪が広がるまち
- ⑨ 地域の産業を育て、雇用と暮らしを守る**内発的産業育成**のまち
- ⑩ 公正で効率的な自治体運営を実践する**地方政府**の確立

3 予算規模の大きな事業及び特記事業

- ・ 地方創生事業の推進
- ・ ローカルスマート交通対策(域内交通)の確立及び実施
- ・ 賃貸住宅不足対策への重点対応
- ・ 個人住宅用地、アパート用地の確保整備（土地開発公社と連携）
- ・ 国営緊急農地再編整備事業の推進
- ・ 省エネ、再生可能エネルギーの導入促進
- ・ 道の駅ニセコビュープラザ再整備計画の推進
- ・ 役場庁舎（防災センター）整備実施設計の樹立及び早期着工への準備
- ・ ニセコ高校体育館の大規模改修整備
- ・ 近藤小学校体育館改修整備の準備
- ・ ニセコ町プールの整備計画の樹立(場所、概算事業費、補助金の選定)
- ・ こども遊び場の創設の検討
- ・ 有島記念公園牧場跡の活用・整備着手
- ・ 中央倉庫地区の駐車場整備及び 1 号倉庫へのトイレ設置検討
- ・ 道路・橋梁・公営住宅・上下水道施設の長寿命化更新
- ・ モイワ・昆布温泉地区町道の歩道整備の検討
- ・ 国際リゾートオフィス、テレワークの拠点設置の検討
- ・ ふるさと住民票制度等の導入検討

4 基本的な事項

- ① 「最小の経費で最大の効果を」との旧来型発想から卒業し、住民の福祉向上とニセコ町の活性化のため「最大の効果を最小の経費」で実施するよう**発想の転換**を。
- ② 時代遅れの「**当初予算主義思想から脱皮**」し、スピード感を持ってまちづくりや組織改革に挑戦を。
- ③ 「**縦割り意識を排除**」し、関係課・係との情報共有・連携に勤めること。「たぶん、〇〇だと思うなど推測による議論・結論」は、検討していないことと同じで、かえって危険ですらある。「**必ず事実の確認**」を行うこと。
- ④ 町の施設整備や備品見積もり等は、自宅（自分のお金）で購入すると同じ視点で、多様な検討を加え、利用者の利便と維持経費等総合的な検討を。
初期投資を安価にではなく、**ライフサイクルコスト・将来の価値**を考えること。
- ⑤ 良い仕事をするうえで、**情報の収集と研修・自己研鑽**は、極めて重要である。各課において、職員の資質向上や町のためになす活動については、創意と工夫をしつつ積極的な予算づくりに努力願いたい。
「**前例主義での予算づくりから脱皮**」を。
- ⑥ 『**環境モデル都市**』として、地球環境負荷の低減、持続する循環社会
① **物質循環**、②**エネルギー循環**、③**経済循環** を基本としての予算づくりを。
- ⑦ 「日本国憲法」「**ニセコ町まちづくり基本条例**」「**ニセコ町総合計画**」「**ニセコ町総合戦略**」をはじめとする各種計画を念頭に予算編成を。
- ⑧ 地域にある資源を有効に活用すること、地域にある産業、事業所、農業等の内発的産業の徹底支援。また、地域で頑張っている人を応援することに最大限の努力を。
先駆的な事例＝東川町（地域の人材地域のモノづくり資源を徹底活用）
木工、家具、彫金、ガラス、塗装、板金等、今現に活動している事業所、人を徹底支援。**内発的産業・地元産業を支援**する。
- ⑨ 全庁の知恵を結集し、力を合わせて現在策定中の**総合戦略を基本**に「**地方創生事業**」を推進する。
- ⑩ 課長等のリーダーシップのもと、仕事をシェアするなど助け合い、時間外勤務を抑制するよう努力する。また、職員の健康・福利厚生・休暇の取得等に十分配慮し、**元気で明るい職場**を創る。相互に助け合い、休暇のとりやすい職場づくりを進める。

今後転換したい考え方

「近隣自治体との比較」⇒ 遅れたところを比較する意味があるのか。

「前年度との比較」⇒ 長期的視点の欠落、複数年予算の検討

*なお、これまでの機構改革の検討において、先送りされてきた改革項目等の実施と事務事業の見直しを進めるため、新たな機構改革の検討に着手し、早期の実施を目指す。